



令和6年3月1日 深谷市立幼稚園

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。子供たちは、たくさんの経験を通して、1年前より心も身体もぐんぐんと成長しています。お子さまと一緒に、1年の成長を思い返す機会をもつのも素敵ですね。

進級・就学を控えて、多くの子供たちは喜びでいっぱい時期です。一方で、気持ちが不安定になる子供たちもいます。安心できるよう、ご家庭でたくさん会話して気持ちを受け止めてあげたり、スキンシップをとったりする機会をつくってあげてくださいね。

今年度も、お子さまの健康管理や健康診断、感染症の拡大予防等、様々な保健活動にご理解・ご協力いただき、本当にありがとうございました。

今月のちょっと
みて・みて!

「3月3日」耳の日 知っておきたい耳の異常のサイン

3月3日は3(み)3(み)にちなんで「耳の日」です。子供は風邪などの感染症から耳のトラブルを起こすことがしばしばあります。早く対応できるよう、耳の病気や聞こえの異常サインを知っておきましょう。

耳の病気

子供が風邪をひいて鼻水が出ているのを放っておくと、鼻水の中にウイルスや細菌が繁殖し、耳管を通して中耳に侵入して中耳炎を起こすことがよくあります。中耳の中で炎症が起こって膿が溜まり熱を出すことや、鼓膜を圧迫するため強い痛みが起きます。また、鼓膜が破れて膿(耳だれ)が出ることもあります。

発熱など、風邪の症状に加えて……

- ・しきりに耳を触る、頭を振る
- ・耳に触られるといやがる

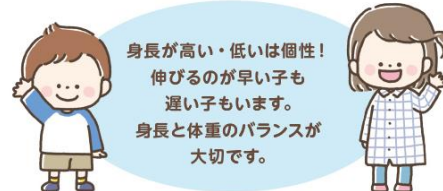
痛みや違和感で、耳を触ったり、頭を振ったりします。また、痛みで機嫌が悪くなったり、夜なかなか寝なくなったりします。



成長曲線でお子さんの成長を確認しましょう

成長曲線は、縦軸に身長と体重、横軸に年齢(月齢)をとったグラフです。

体の成長は、心身の発達と深い関係があります。身長と体重の育ちを成長曲線で追っていくことで、万が一、問題が生じたときにも早く見つけられます。

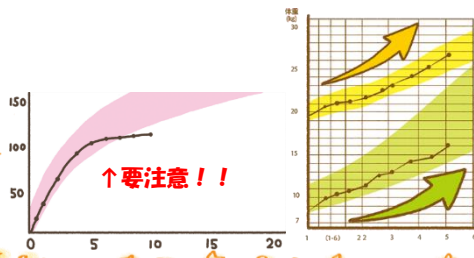


どんなことがわかるの？

成長曲線には、それぞれの年代の育ちの目安が帯状に示されています。このカーブが、標準的な子供の発達を示しています。

注意が必要なときってどんなとき？

成長曲線に数値を記録したときに、成長曲線のカーブと、お子さんの成長の記録が平行に進んでいるかどうかをチェックしましょう。成長曲線と平行に伸びていれば成長に問題はないでしょう。成長曲線よりも傾きがなだらかな場合(伸びの度合いが低い時)は、注意が必要です。 ※ 成長曲線で「同年代のこどもと子どもと比べて大きい小さいか」を気にする人がいますが、大切なのは、「お子さんの成長カーブが、成長曲線のカーブと合っているか」どうかです。ゆっくりと長い目で子供の成長を見守りましょう。



心配なとき、どうすればいい？

子供の成長には、食事や睡眠が大きくかわります。まずは、食事のバランスや生活リズムなどをチェックしましょう。生活改善に取り組んでも身長や体重の育ちが改善しないときは、かかりつけ医に相談しましょう。

聞こえの異常

聞こえの異常(難聴)には、生まれつき聴力が弱い場合と、病気が原因となっている場合があります。聞こえの異常は、言葉の育ちにも影響します。

難聴の原因となる病気は？

急性中耳炎

急性中耳炎が治りきらないと、中耳にサラサラとした液(滲出液)が溜まります。痛みや発熱などの症状がないため、発見が遅れることがあります。

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)

原因となるウイルスが内耳(音を感じる部分)に感染して、難聴を起こします。予防接種で感染を防ぎましょう。

チェック

テレビの音が大きい
テレビの音を必要以上に大きくします。



後ろから呼んでも気づかない
後ろから名前を呼んでも振り向きなかったり、返事をしなかったりします。左右差がある場合もあります。